第４回　南風原町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会　概要

日　時：平成 28 年２月 17 日（水）午後４時～
場　所：南風原町役場５階　執行部控室
出席者：金城宏孝、島袋吉夫、大城恵美、久田友次郎、島袋隆志、瑞慶覧俊也、嶋袋悦子、
　　平良尚正、戸恒慎司

１．開会

２．議事
　１）南風原町人口ビジョン（素案）について
　２）南風原町まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）について
　　・前回審議会の委員意見に対する対応の方向について事務局より説明を行い、あらためて委員からの意見等について確認。

【委員からの意見・指摘等】
委員：総合戦略のスピード感がカギになる。八重瀬や与那原の発展の影響が南風原への企業進出の機会を失う可能性もある。与那原町の総合戦略（素案）では担当者名簿を掲載しており、実行性を感じる。成果指標も分かりやすい。
　・全体像の中で「こどもの貧困～」施策がＫＰＩに対応されていない。国、県の姿勢を勘案し、評価指標を示すことはできないか。

委員：「新規創業支援等」を展開する場所がイメージできない。第四次総合計画の土地利用構想で位置づけられている「新規産業ゾーン」で進めていくのか、または別の場所を検討していくのか。

委員：西原町や与那原町と同様な取り組み方をしている印象がある。南風原町の独自性や長所を示せるよう、皆で知恵を絞っていきたい。

委員：基本目標２（１）地域産業の振興「④食を通じたまちづくり推進事業」は、「産業振興」か「まちづくり」か、捉える観点によって位置づける分野が変わる。地場産業の振興を目的とする表現でも良いのでは。

委員：待機児童数の解消過程（認可外施設の定員数、認可化による定員増加、新規整備施設数）、方向性を示せないか。

委員：地域産業の育成や雇用創出が内向きであってはならない。町外から人を呼び込むには、伝統工芸品等のブランディングが求められる。

・本町には婦人会が不足している。時代に合った形態で、各世代・分野ごとのコミュニティを形成していきたい。

委員：南風原北、南ＩＣが２箇所あることは町の優位性。北部観光の出発点としてホテル等があっても良い。早期に取り組むべき。

・高齢者の雇用促進支援に関わる文言を入れられないか。

・「暮らしやすいまち」であることをピーアールする施策を検討できないか。看板や大型ビジョン等で継続的に情報を提供する。

委員：特殊包材の活用や地の利を活かして、農産物のアジア輸出を目指しても良いのでは。イオンの存在にも期待したい。

・地域のつながりは、災害時や防犯意識において大きな影響がある。自治会等を核にした地域コミュニティを形成する場が増えてほしい。

３．その他

・次回日程について（２月 17 日頃を予定）

４．閉会

会長：それでは第４回審議会を終了します。